

国内最軽量アルミ缶の 開発を実現、量産を開始



温室効果ガス排出量削減への さらなる貢献

東洋製罐(株)は、飲料缶の底部をリフォームして、強化し、軽量化を可能とする缶底耐圧強度向上技術(CBR※)を使用することにより、204 径 SOT缶において国内最軽量となるアルミ DI 缶の開発を実現しました。これにより、GHG排出量のさらなる削減が期待されます。このたび、東洋製罐の千歳工場・基山工場を皮切りに、全国の工場において 350ml・500ml の最軽量アルミ缶の量産を順次展開しています。

※ Compression Bottom Reform